

似顔絵とキミ子方式

松本 昭彦 (愛知教育大学美術教育講座)

Portrait Drawing and Kimiko Method

Akihiko MATSUMOTO (Department of Visual Art, Aichi University of Education)

要約 絵に求められているものは「個性」とか「新しい表現」なのであろうか。絵を見たり描いたりする際に必要なのは「絵心」や「感性」であろうか。モノを見ることを《入力》、モノを描くことを《出力》に例えると、世間では出力ばかりが強調され過ぎて、表現上の目新しさだけに注目が集まっているように思われる。豊田市立挙母小学校や岡崎市立常磐南小学校等でキミ子方式による似顔絵の指導をして「モノを見る」技術が「モノを描く」技術に先立って重要であるとの感を深めた。授業後の子どもたちの感想を読むと、自ら進んで絵を描こうとする意欲や、暖かい人間関係を尊ぶ心情が見て取れる。似顔絵は地味で卑近な題材ではあるが、昨今の子どもたちの漫画的な様式傾向を打破するのに必要と思われる《見る技術》や《描く技術》を学ぶためには格好の題材であると言えよう。

Keywords : キミ子方式, 似顔絵, 技術

1 はじめに

街頭やイベント会場等で似顔絵を描いている人を見るときに見かける。彼らの絵の多くはモデルの特徴をデフォルメした漫画的なものである。こうしたユーモラスな様式的表現について本稿で言及する気はないが、いずれにしても絵を描くという行為そのものは、文字が発明される以前から現代に至るまで何万年と続く人類の根源的な営みであると言える¹⁾。

一口に絵と言っても、簡単な線画(ドローイング)や素描(デッサン)等から、重厚な本画(タブロー)に至るまで実に種々様々である。イタリアルネッサンスの巨匠ミケランジェロは「デッサンはすべての造型芸術の源泉であるばかりでなく、あらゆる技術の根本である」と言っている²⁾。

鉛筆やコンテ、ペン等の直接描画材を用いる線画や素描の《似顔絵》は、絵具等の間接描画材³⁾による《肖像画》とは違って、比較的短時間で描けるため、より親しみやすい絵であると言えよう。本稿では、キミ子方式の似顔絵を体験した子どもたちの作品の出来栄や感想を通して、似顔絵題材の意義と絵画指導の在り方について考察する。

2 似顔絵題材の特性

絵画を描く対象物で分類すると、静物画・人物画・風景画等となる。この他、様式によって写生画・空想画・抽象画といった分け方も可能である。技法で分類すると、鉛筆画・ペン画・水彩画・日本画・油絵ということになるだろう。キミ子方式の似顔絵は人物画であり、写生画であるとともに、技法的には鉛筆画またはペン画に属する。

筆者はこれまでに、三好町(愛知県西加茂郡)主催サマースクール「楽しい似顔絵」(平成14年度)をはじめ、本学主催の公開講座「親子で楽しむ似顔絵の描き方」(平成15年度)、豊田市立挙母小学校全児童への「似顔絵」指導(平成18年度)、岡崎市立常磐南小学校第3学年以上の全児童に対する似顔画指導(平成19年度)の他、学部や大学院の授業においても度々似顔絵の指導を行ってきた。

世間一般的には「絵に決まった描き方はない」と言われるが、絵に関する技術を身につけていく学習過程では、まず一つの型について学び、体験を重ねながら理解を深めていく方法が良いであろう。

キミ子方式の似顔絵の描き方について書かれたものには、『はがき絵の描き方⁴⁾』、『宇宙のものみんな描いちゃおう⁵⁾』、『ひろびろ三原色・彫刻編³⁾』、『カット・スケッチの描き方⁷⁾』、『キミ子方式通信講座中級・手引き書⁸⁾』が挙げられる。似顔絵を描く前に「髪の毛」の描き方を学習することが勧められるが⁹⁾、髪の毛の描き方は上記5冊¹⁰⁾の他、『キミ子方式スケッチ入門¹¹⁾』にも見ることができる。

キミ子方式の似顔絵の描き方の大雑把な順序は、鼻→鼻の下(人中)→上唇と下唇の境→下唇→上唇→目→眉毛→あご→頬→首→耳→髪の毛の順である。つまり、内側から外側へ向かう順とも言える。

我が国には「へのへのもへじ」や「つる三ハ〇〇ムし¹²⁾」等の描き遊びが古くからあるが、他にもアニメ漫画の主人公らを描くための絵描き歌というものもある。こうした様式的な描法は覚えやすく、また親しみやすいものではあるが、観察を伴う表現ではないため、絵を描くための入出力器官が鍛えられるわけでは

ない。目でモノを見、脳でそれらの情報を処理するところまでが写生画における入力活動であり、その処理された情報を手に伝えていくのが出力活動であると言える。

日本語で「みる」を漢字にすると、「見る」「観る」「診る」「看る」「視る」等と種々あるように、ただ眺めるのとじっと観察するのでは見え方は異なる。我が国を代表する写実画家の野田弘志は「ただ見ているだけではだめで、見抜く¹³⁾」と言っているが、写生画においては些細な変化も見逃さないように努めることが大切なのである。

人間にとって、人の顔というものは日常的に見慣れているため、ちょっとした僅かな違いで人を見分けることができる。《目が横に2つあって、その間から下に向かって鼻があり、さらにその下に口がある》という構造は誰もが同じである。長さや大きさ、色や質感等の僅かな差しかなくても、誰かと他の誰かを見間違えることはまずない。しかし見る相手が恒常的には見慣れていない動物や昆虫、魚類等の場合、同一品種がたくさんいたら、どれがどれだか見分けがつかなくなるであろう。植物を写生するときでも、見慣れない視覚情報は見落としがちであるし、絵の出来栄えにも差が出にくい。

下図1は本学大学院の美術科内容学領域（絵画）に所属する大学院生がキミ子方式で描いた植物のペン画である。図2は美術を専門としない大学院生が同様に描いた植物である。出来栄えを図1と比較しても全く遜色なく見ることができる。



図1 植物のペン画（絵画専門の大学院生による）



図2 植物のペン画
（美術を専門としない
大学院生による）

また、図3は図1の作者がキミ子方式によって、ペンで描いた似顔絵である。図4は図2を描いた大学院生の似顔絵であるが、止むを得ない理由で本人が授業を欠席したため、後日友人をモデルにして、描き方の順序だけを頼りに自力で描いたペン画である。これらの図からも分かるように、似顔絵を描くということは、他の題材（モデル）と較べると、とても難しいものであることが分かる。

3 豊田市立挙母小学校での似顔絵指導

平成19年1月18日（木）午後1時05分～1時45分という短い時間ではあったが、筆者と本学大学院生9名、学部生21名の総勢31名は、豊田市立挙母小学校『なかよレタイム』で似顔絵の指導を行った。PTA主催のその講座の実際は、24のタテ割りクラスに授業者1名をそれぞれ配置し、要介助の児童がいる教室にはさらに補助者を加え、全校児童にキミ子方式の似顔絵を体験してもらうという内容の出前プロジェクトであった。

事前に指導マニュアル（A4で6頁）を作成し、授業を担当する大学院生と学部生には、物品の準備や机の配置、指導の展開例、介助のポイントや不測の事態における対応等について説明を行った。勿論、計画通りにコトが進むとは思ってもいなかったが、40分という限られた時間を有効に使うため、万全の準備を整え、分刻みの予定を立てた。また、絵を描いたり、モデルをしたりする子どもたちになるべく近くで互いの顔が見えるように、机の配置計画については、PTA側にも予め伝えてあり、授業（講座）中に机を動かさなくても済んだことは幸いであった。

以下は、指導マニュアルの冒頭に挙げた留意事項の抜粋である。

- ・対象を愛でるように観察しながら描かせることで、子どもたちがお互いに今以上もっともっと仲良しになれるよう心掛けて指導して下さい。※カゲ（陰影）を描かせる必要ありません。



図3 似顔絵
（図1を描いた絵画専門の
大学院生による）



図4 似顔絵
（図2を描いた美術を専門
としない大学院生による）

・万が一、授業中やその前後に地震・火災等が発生した際には、自己の安全確保に努めるとともに、挙母小学校教員の指示に従い、PTAの方々と協力して児童を安全に避難させるようにして下さい。

・その他の不測の事態については、松本に報告し、対応の指示を受けて行動して下さい。

これらの他、児童数が奇数のクラスでは、3人1組の班を一つ設けること等も決めておいた。下表1は指導項目と時間の配分計画である。

授業を担当する院生・学部生に例示した展開プランは以下の通りである。

1. (1分) 自己紹介 (例)

愛知教育大学(大学院)〇年の〇〇〇〇です。今日は似顔絵の描き方を一生懸命教えますから、よろしくをお願いします。

2. (4分) 約束の話 (例)

3つの約束を守ってください。

①「描く」と「モデルをする」のを5分ずつ交代でやります。完成できなくてもかまいません。大事なことは、モデルの人をよく見ることです。モデルをするときのお願いです。まず、窓側の人(右手挙げる)がモデルです。モデルさんは、ひじを机に乗せて、自分の顔を描いている人によく見えるようにして下さい。

目と目が合うと照れて笑ってしまうので、描いている人のアゴを見ているようにして下さい。口はつむっていてください。

②つぎに、描く人をお願いします。描く人は、私(先生)の説明を聞きながら、ひとつずつ描き進めていってください。先生(私)も黒板に少しずつ描いていきますから大丈夫です。

③最後のやくそくです。今「大丈夫です」と言いましたが、もしちゃんとうまく描けなかったら、それはみなさんのせいではありません。教えた人の教え方が悪いのです。だから満足できない絵が出来たら「先生が悪かった」と思ってください。

では、始めます。

モデルの人は机にヒジを乗っけて。描く人のアゴを見て。

描く人は、鉛筆を持って…

3. (5分) 鼻→唇 (黒板左半分に描いていく紙の真ん中あたりに

- ①「左の鼻の穴」30”
(どんな形してる?)
(黒いと思ったら塗ってね)
 - ②「右の鼻の穴」30” / 1’
(左の穴とどれくらい離れてる?)
(黒いと思ったら塗ってね)
 - ③「穴と穴の間」30” / 1’ 30”
(分からなかったら黒板を参考にしてね)
 - ④「左の鼻のフチっこ」20” / 1’ 50”
(どこからどこまで)
(下から上へ)
 - ⑤「右の鼻のフチっこ」20” / 2’ 10”
(どこからどこまで)
(下から上へ)
 - ⑥「鼻スジ」30” / 2’ 40”
(左, 右)
(下から上へ)
(目の高さくらいまで)
 - ⑦「鼻の下」20” / 3’ 00”
 - ⑧「上唇の真ん中のしるし」20” / 3’ 20”
 - ⑨「上唇と下唇のさかい目」30” / 3’ 50”
(まっすぐじゃないよ)
(真ん中, 左へ, 右へ)
 - ⑩「下唇」35” / 4’ 25”
(左から右へ)
(ふっくらと描いてね)
 - ⑪「上唇」35” / 5’ 00”
(下から上に向かってスジスジで描いていってね)
(フチどってもいいよ)
- 「交代」

開始時間	項目
13:05~	1. 自己紹介
13:06~	2. 約束
13:10~	3. 鼻~唇
13:15~	4. (交代して) 鼻~唇
13:20~	5. 目~顔のりんかく
13:25~	6. (交代して) 目~顔のりんかく
13:30~	7. 首~髪の毛
13:35~	8. (交代して) 首~髪の毛
13:40~	9. 予備
13:41~	10. 感想文

表1 指導項目と時間配分計画



写真1 似顔絵授業の様子 (豊田市立挙母小)



写真2 似顔絵を描く子どもたち（豊田市立挙母小）



写真3 介助の様子（豊田市立挙母小）

4.（5分）鼻→唇（黒板右半分に新規に描いていく）

紙の真ん中あたりに 3. ①～⑪を参照

「交代」

5.（5分）左目→顔のりんかく（黒板左半分に続きを描いていく）

①「左目、まず上の線」25”

（二重まぶたの人には2本描いてよ）

②「下の線」25” / 50”

③「黒目」30” / 1’ 20”

（黒目の真ん中から塗りながらだんだん大きくしていくよ）

（大きさはどれくらい？）

（白目はどれくらい残ってるかな？）

④「右目、まず上の線」25” / 1’ 45”

（二重まぶたの人には2本描いてよ）

⑤「下の線」25” / 2’ 10”

⑥「黒目」30” / 2’ 40”

（黒目の真ん中から塗りながらだんだん大きくしていくよ）

（大きさはどれくらい？）

（白目はどれくらい残ってるかな？）

⑦「左のまゆ毛」45” / 3’ 25”

（内側から外へ1本1本）

（1本1本の長さや向きに注意してね）

⑧「右のまゆ毛」45” / 4’ 10”

⑨「アゴ」20” / 4’ 30”

（下唇からどれくらい離れてるかな）

（指が3本分くらいかな）

⑩「顔のりんかく、まず左」15” / 4’ 45”

（下から上へ）

（目の高さくらいまで）15” / 5’ 00”

⑪「顔の右側のりんかく」

「交代」

6.（5分）左目→顔のりんかく（黒板右半分に続きを描いていく） 5. ①～⑪を参照

「交代」

7.（5分）首→髪の毛（黒板左半分に続きを描いていく）

①「首」20”

（唇の高さより下から始めないと、首が太くなっちゃうよ）

（右側、左側）

②「左耳」25” / 45”

（全然見えなかったら描かなくていいよ）

（見えてる分だけでいいよ）

（耳タブのデコボコをちょっと描いたら、フチっこを線で）

③「右耳」25” / 1’ 10”

④「髪の毛」3’ 50” / 5’ 00”

（前髪から）

※（「この辺」と言って、示すと良い）

（地肌が見えているところからまず1本）

（左半分の前髪だけ）（1’）

（右半分の前髪も）（45”）

（横へ、前髪のつづきから左へとなり隣、だんだん一番フチっこまで行ってね）（45”）

（今度は右も。前髪の右の続きから、だんだんフチっこへ）（45”）

（上も忘れずに）（35”）

「交代」

8.（5分）首→髪の毛（黒板右半分に続きを描いていく） 7. ①～④参照

「やめ」

9.（1分）おまけ

「じゃあ、あと1分あげるから、みんな、すきまに髪の毛いっぱい増やしてね」※モデルと描く人を区分しないで一斉に

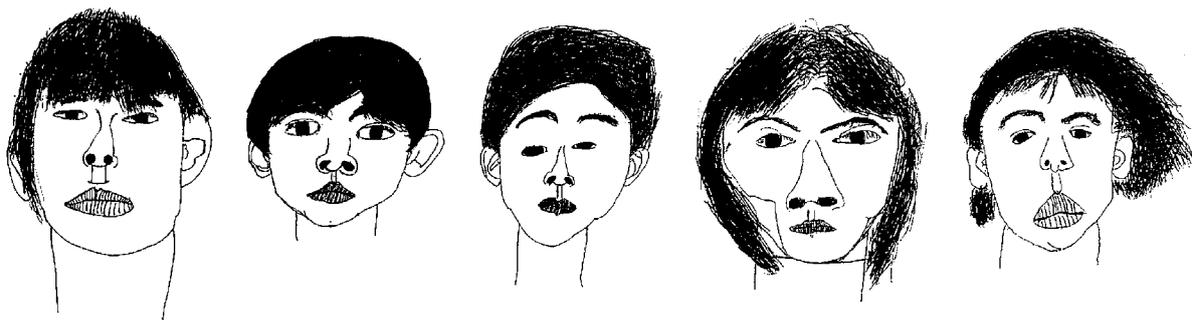


図5 第3学年の児童たちが描いた似顔絵（岡崎市立常磐南小学校）

10. (4分) サイン・感想文

- ①「絵のあいてるところにサインを格好良く書いてね」
- ②「モデルの人の名前も書いておこうか？『だれだれ君』『だれだれさん』って」
- ③「今日の授業で似顔絵を描いてみてどうでしたか？」

「今の気持ちを感想文に書いて教えてください」

児童たちが似顔絵を描いた後に書いた感想文は第5章で紹介する。

見方とは、目から脳へ入力される情報をより明確に認知するための手法であるとも言えよう。指導者はしっかりと見るための技術を伝える必要があると思うのだが、従来、図画工作や美術では、自由や創造性が重視され過ぎ、教えることを罪悪視してきた感がある。某高校生は筆者に「美術は今まで授業がテストだと思っていた」と語ったことすらある。

教えてやりさえすれば、小学校でも素晴らしい絵が描ける。下図6は4年生、図7（次頁）は5年生、図8（次々頁）は6年生が描いた似顔絵である。

4 岡崎市立常磐南小学校での似顔絵指導

平成19年5月16日、岡崎市立常磐南小学校の第1、2学年の児童にはお菓子と葉っぱのペン画を、第3学年以上の児童たちには鉛筆による似顔絵の指導を行った。似顔絵を描いた児童の数は第3学年が5名、4学年で6名、5学年が9名、6学年が8名の計28名であった。

描き方の順序は前章と同じであるが、キミ子方式の書籍によっては、最初の鼻の描き始めが「(中央の)大鼻」→「(左右の)小鼻」→「鼻の穴」とするとき¹⁴⁾と、「鼻の穴」→「小鼻」とする場合¹⁵⁾がある他、「鼻すじ」を「唇」より先に描く場合¹⁶⁾と、後に描く場合¹⁷⁾がある等、描き方の順序が若干異なる部分があり、筆者は自分の指導経験から、より多くの人にとって描きやすいと思われる方を選んで、全体の手順を組み合わせている。それゆえキミ子方式の本に示された手順と違うところも幾分あることをお断りしておく。

上の図5は3年生の児童たちが描いた似顔絵である。概して似顔絵では、目の位置が高くなり過ぎたり、アゴが長過ぎたりしがちである。予め子どもたちには「小鼻の左のフチから右のフチまでの長さ」を基準に、《同じくらい》や《それよりちょっと長い/短い》で比較するよう助言してあったので、どの子どもの似顔絵もバランスがよくとれている。こうした基準となる長さ(カノン)を設定することは、図画工作や美術以外のさまざまな教科でも観察学習には役立つであろう。

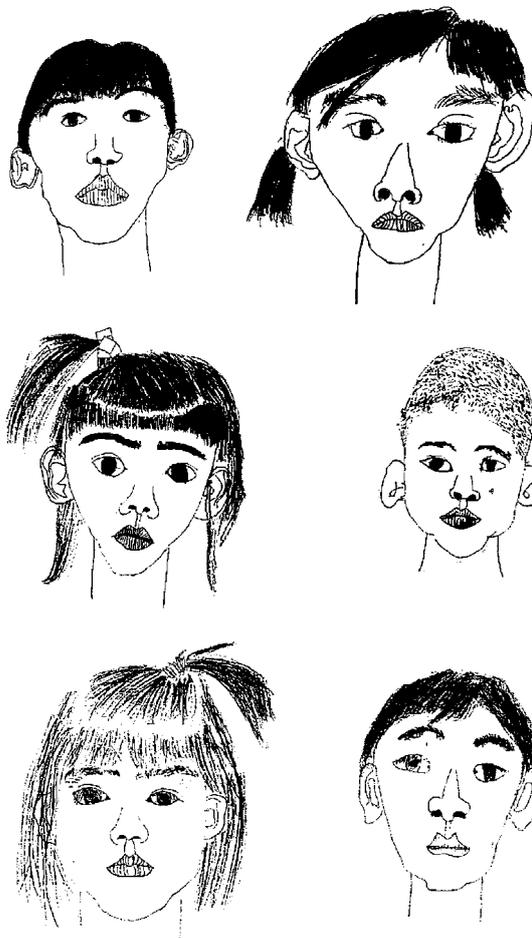


図6 第4学年の児童たちが描いた似顔絵



図7 第5学年の児童たちが描いた似顔絵（岡崎市立常磐南小学校）

図5～8を見ると、学年が上がるにつれて似顔絵の描写レベルが上がってくるのが分かる。身体の成長に伴って、脳から手への出力回路も発達するものと考えられるが、子どもたちの描いた似顔絵には、大人顔負けの作品もあることには驚かされる。単に「よく見て描きなさい」という指導では、こうした作品は生まれてこない。《どこを》《どのように》見るのかを教えることが大切である。

5 似顔絵を描いた子どもたちの感想を通して

いわゆる「自由奔放」にでもなく、「個性の発揮」や「豊かな発想」を目指した訳でもなく、見方や描き方を教えられて描いた絵を、子どもたち自身はどう思っているのか、豊田市立挙母小学校の児童たちが授業後に書いた感想文を見ることにしよう。

今までは、マンガ系のいつも同じような顔をかいていたけれど、この似顔絵講座で、相手によく似ていて、しかも本格的な絵のかき方が分かりました。鼻の穴からかいてもこんなに上手に出来上がるんだなあとおどろきました。

上の文章は6年生の女子児童が書いてくれたものであるが、幼児期の様式的段階を経てもなお、昨今の子どもたちは漫画的な図式レベルに留まっており、中学年や高学年になっても、きちんと見て描くことがなかなか出来ない。自分たちの描く絵が漫画の領域である

ことを子どもたちは諦めがちに知っている。教師はこういう児童たちの悲劇を救ってやるような指導を心掛けるべきであると思いつくづきを感じる。

- いつも、わたしが、かいてる絵は、くちびるとかはなは、かいてないけど今は、かいたから、にんげんらしくなりました。(2年)
- わたしは、絵を、よく書けど、マンガのような、絵で、今日かいたのはほんかくてきな絵だったので、これからも、このような絵を、書きつづきたいです。(3年)
- わたしは、マンガをかくのがすきで、マンガふうにかいていたけど、りあるにかくのもおもしろかったです。また書きたいです。(4年)

キミ子方式は、ものの見方や描き方の技術を伝えるのに適した方法であると考えられる。従来の「よく見て描きなさい」では不十分だった《どこを》《どのように》見て描くのかを明確に示すからである。

- かおのかきかたのじゅんばんとかをおしえてもらってとてもたのしかったです。またかいてみたいです。(1年)
- むずかしかったけど、たのしかったです。(1年)
- うまくえをかくべんきょうをしました。まえまではえがじょうずじゃなかったけどきれいにかけました。(1年)



図8 第6学年の児童たちが描いた似顔絵（岡崎市立常磐南小学校）

- いろいろおしえてもらってうれしかったです。こんどままとばばのをかいてあげたいです。たのしかったです。（1年）
- とてもいいえがかけてとてもいいなあと思いました。（2年）
- まゆげがいいです。（2年）
- いつもよりきれいに書けたからこの書き方をおぼえたいなと思いました。（2年）
- よくみるといいかおができるなあとおもいました。（2年）
- またやりたいなと思いました。（2年）
- くらべてみたら、にてました。（2年）
- 思ったよりじょうずにかけました。（3年）
- はじめて相手を見て書けて、きれいに書けたのでうれしいです。（3年）
- 自分でもこんなにかけてすごいな！と思いました。つぎにやるときはもっとじょうずになりたいです。（3年）
- くちびるがこうゆうふうになってるんだと思いました。（3年）
- むずかしかったけどいつもよりうまいにがおえをかけたのでよかったと思います。（4年）
- 私は、にがおえをかくとき、いつもりんかくからかいてやるので、鼻からかくのは、はじめてだったので、うまくかけれるかとふあんでした。

でも先生のおかげで、思ったより上手にかくことができました。（5年）

- 今日は、上手にかけるようにいろんなことをおしえていただいて、このことをしっかり覚えて、わすれないようにし、今度がにおえをかくときがあったら使っていきたい。（5年）
- 人の絵の書き方を教えてもらいながら書いて、わらいがたえなく楽しくできて良かった。（5年）
- 目がモデルとすごく似ていたのでおどろきました。また、にがおえを、かきたいです。（5年）
- かおのかきかたがわかってすごうれしかったです。（5年）
- 今日は、顔のかきかたを教えてもらって、いつもかく絵より、ほんかくてきかけました。ほん物のように、かけてびっくりしました。これからも、絵をかくときは、今日、教えてもらったことを生かして、また絵をかきたいです。（5年）
- 似顔絵でこんなに、じっと友達をみてかいたのは初めてでした。1つずつ顔のパーツをえがき、ていねいにかけたので、楽しさを知りました。また、教わったことをいかして今度かきたいです。（5年）
- 楽しくかくことができました！先生は、やさしくて、くわしくおしえてくれたので、分かりやすかったし、やりやすかったです。（6年）

・目の部分や耳などむずかしいところがたくさんあったけど楽しかったです。(6年)

児童たちの中にはキミ子方式のような観察を必要とする描写を難しいと感じることもあるようではあるが、こうした経験を通して、入力と出力の回路が開発されていくのであろう。

・耳とか目や口をかくときにどきどきしました。いちばん、むずかしかったのは、くちです。(1年)

・人のかおをかくのはむずかしかったです。とくにはなの下の線のところがむずかしかったです。(4年)

大学生に教えるときでも、「鼻の下(人中)」の後、いきなり「上唇と下唇の境」へと描き進めさせると、キミ子方式でよく言う《隣となりへ》の原則にしては、幾分とばしたようでもあり、上唇の厚みの掌握が上手く出来ないことがあるので、筆者は「鼻の下」→「上唇の上端中央部」→「上唇と下唇の境(の中央部)」と描かせることにしている。

キミ子方式考案者の松本キミ子が「見る技術」や「ものの見方¹⁸⁾」の重要性を多くの著作の中で繰り返し力説しているように、キミ子方式で似顔絵を教える際には、単に描き順を伝えるだけでは不十分で、顔の部分毎に見方をきちんと伝えなくてはならないのである。

6 おわりに

絵画指導の目的はプロの絵描きを養成することではないし、また、図画工作科や美術科の内容は絵画指導だけでもない。絵画指導の目的は、自ら進んで絵を見ようとか描こうとする心情や、他人やモノをおもひかるイメージ力を育てることではないだろうか。

・楽しかったので、また、ちがう人でやりたいです。(4年)

・家で、誰か書いてみたいです。(6年)

・くろうしたけど、楽しかった。こんどは、人の顔じゃなくても、ものもこのようにかきたいと思いました。(4年)

・今日教えてもらった事をこれからの図工などでいかしていきたいと思います。(6年)

・ゆりさんの口びるがすごくうまくできました。ゆりさんが、せすじをのばしてくれて、かきやすかったです。ゆりさんがわたしをうまくかいてくださったことがよかったです。(4年)

・たてわりはんの人とよくかおをみあったことで、仲よくなれたと思います。(5年)

・一年生の子も自分の顔をみながら一生けん命書いてくれてうれしかった。(6年)

キミ子方式の似顔絵を体験した児童たちの感想からは、絵画指導の目標らしきものが少しは達成されたように思われる。

注

- 1) 1994年に発見されたフランスのショーヴェ洞窟壁画は3万2千年前に描かれたと言われる。
- 2) 太田洋三・草薙耕次、透視図と彩色の技法、理工学社、1968、p.2-6
- 3) 直接描画材とはクレヨンやパステル、鉛筆等のように、手に持った瞬間から絵を描くことのできる材料を指し、間接描画材とは絵具やインク等、一旦パレットや皿等に出してから筆やペンで運びながら描く材料を意味する。
- 4) 松本キミ子、はがき絵の描き方、日貿出版社、1988、pp.78-81
- 5) 松本キミ子、宇宙のものみんな描いちゃおう、太郎次郎社、1987、pp.106-108
- 6) 松本キミ子、ひろびろ三原色・彫刻編3、ほるぷ出版、1986、pp.31-35
- 7) 松本キミ子、カット・スケッチの描き方、仮説社、1999、pp.96-99
- 8) キミ子方式通信講座中級手引き書、キミコ・プラン・ドゥ、1990、pp.29-33
- 9) 前掲書6)、pp.31-32
- 10) 前掲4)『はがき絵…』pp.76-77、5)『宇宙の…』pp.104-106、6)『ひろびろ…』pp.31-32、7)『カット・スケッチ…』pp.92-95、8)『キミ子方式通信…』pp.24-27に髪の毛の描き方がある。
- 11) 松本キミ子、キミ子方式スケッチ入門、JTB、2001、pp.112-113
- 12) 「つる二ハ〇〇ムシ」ということもある。
- 13) 米倉守「野田弘志 写実を語る」(野田弘志『画集 野田弘志』朝日新聞社、1988、p.103)
- 14) 前掲5)『宇宙のもの…』と同6)『ひろびろ三原色・彫刻編』では大鼻から描き始める。
- 15) 前掲4)『はがき絵の描き方』と同7)『カット・スケッチ…』では鼻の穴が描き始めである。
- 16) 前掲5)『宇宙のもの…』及び同7)『カット・スケッチ…』は鼻筋を唇より先に描かせる。
- 17) 前掲4)『はがき絵の描き方』及び同6)『ひろびろ三原色・彫刻編』では唇の後に鼻筋を描く。
- 18) キミ子方式ではものの見方の基本として、次の3つを挙げている。①細かく観察する②大胆に何となく感じをとらえる③抽象化したものを見る